

今年度の取り組みと 来年度以降の取り組みについて

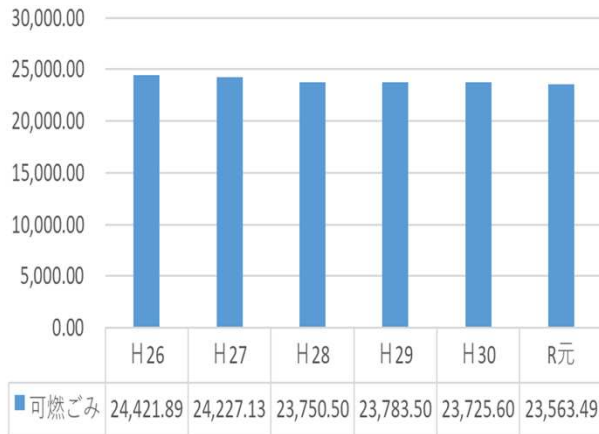
新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルス感染拡大により、今年度開催予定であった、下記の事業やイベントが影響を受けました。

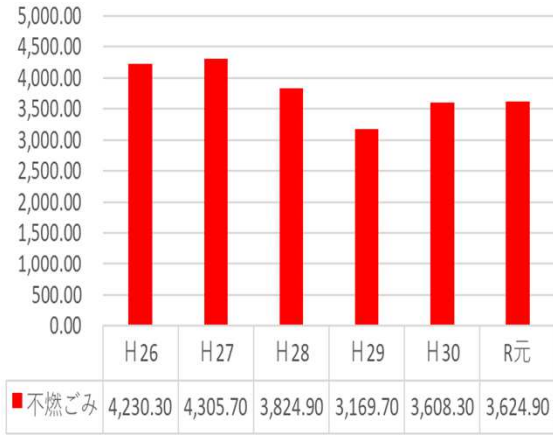
イベント・事業名	内容	対応	理由
福服BOOK事業 (通年)	市民より着なくなった洋服等を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業	休止中 (R2.5.1~)	海外の流通が滞っているため。
クリーンデー燕R2春 (例年4月実施)	自治会と事業所等の皆様よりご協力をいただき「クリーンデー燕」と称して市内一斉清掃活動。	中止	感染予防・拡大防止のため
クリーン作戦 (職員ボランティア活動) (例年5月実施)	平成25年度の庁舎移転に伴い、毎年1回業務終了後にボランティア職員で庁舎周辺のごみ拾い。	中止	感染予防・拡大防止のため
クリーンアップ選手権 (例年6月実施)	「I♡Tsubame・Clean up in 燕」(日本一きれいで輝く街を目指して!)の活動事業の一つとして、ごみ拾いに競技性を持たせ楽しく参加していただきながら、地域の環境やごみ問題に対する意識を高めること。また、まち歩きを通じて、風景などを楽しみながら地域の良さを新発見、再発見することを目的として開催している。	中止	感染予防・拡大防止のため
ふれあいフォーラム (例年6月実施)	環境や福祉、教育や交通安全に関する体験ブースや展示。昨年度は地球温暖化防止推進センターと地球温暖化防止活動推進員から協力をいただき、来場者に「エコドライブシミュレーター」を使用した地球温暖化防止の啓発活動を実施。また、生活環境課のブースでは食品ロスのパネル展示や発電体験など行いました。	延期 期日未定	感染予防・拡大防止のため

ごみの収集量の推移

年度別収集量（可燃ごみ）



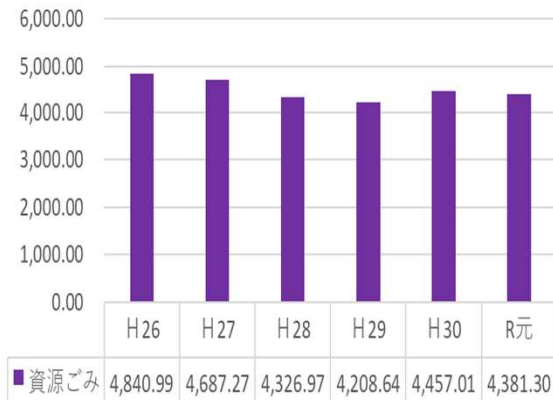
年度別収集量（不燃ごみ）



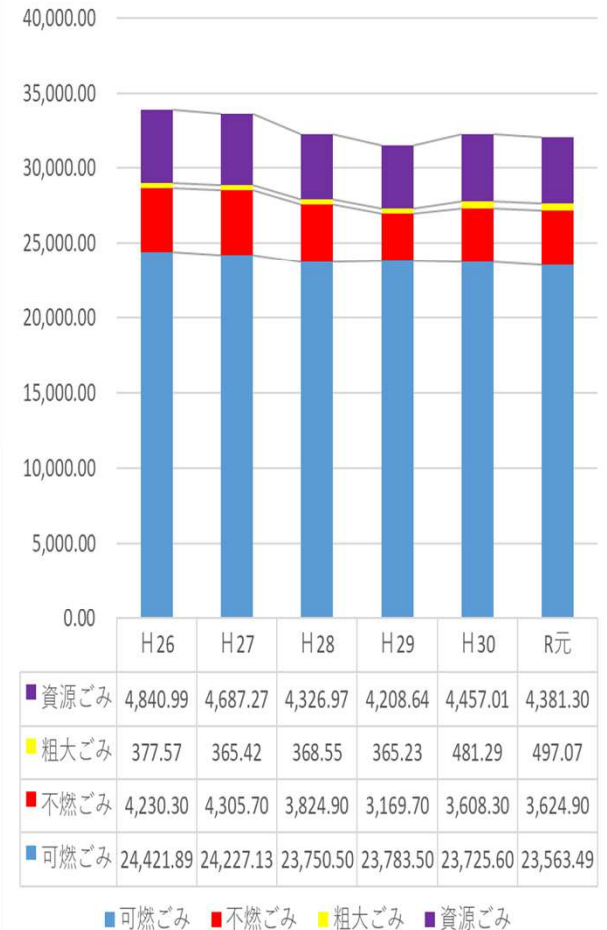
年度別収集量（粗大ごみ）



年度別収集量（資源ごみ）



年度別収集量（合計）



カンカンBOOK・福服BOOK事業（資源ごみ回収・子育て支援連携事業）

「カンカンBOOK」…市内事業所から飲用のアルミ缶・スチール缶を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業です。

「福服BOOK」……市民より着なくなった洋服等を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業です。

◆カンカンBOOK事業

項目	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
協力事業所数	12	15	16	20	21
売却量	2,140kg	2,800kg	3,660kg	3,060kg	1,370kg※1
売却益	151,238円	245,428円	335,690円	251,402円	106,821円※1
絵本購入数	84	229	312	296	未定
贈呈施設数	8	21	20	19	未定

●福服BOOKのぼり旗



※1 R2年度は9月末までの実績
現在、休止中

◆福服BOOK事業

項目	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
回収場所	燕庁舎駐車場	市役所駐車場	市役所駐車場	市役所駐車場
回収日	4月～11月の毎週日曜日	年末年始を除く毎日	年末年始を除く毎日	年末年始を除く毎日
回収時間	9:00～15:00	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～17:00
拠点回収	5回	6回(1回は雨で中止)	4回(1回は台風で中止)	中止(当初の予定では4回)
回収量	45,280kg	67,540kg	106,465kg	34,955kg※2
売却益	45,280円	67,540円	106,465円	34,955円※2

●贈呈図書ラベル



※2 R2年度は4月末までの実績

小型家電リサイクル事業

小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化と不燃ごみの減量化を行います。
また、回収や分解等の業務を障がい者就労支援施設へ委託し、就労支援を行っています。

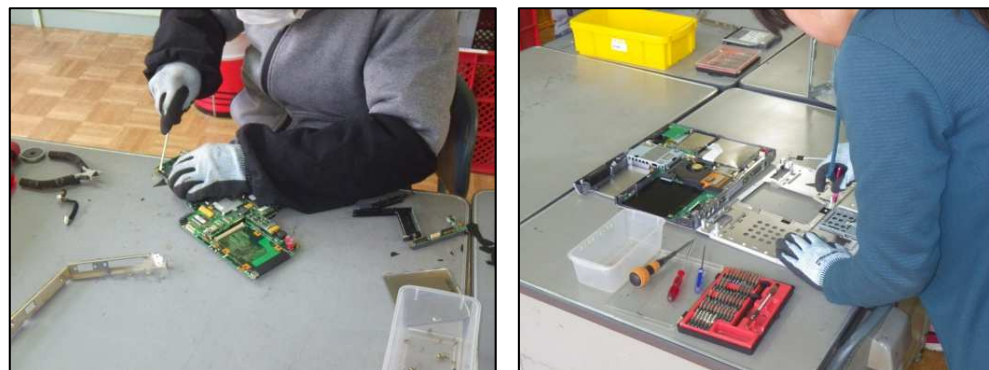
◆年度別実績

	売却量	売却益
H26 ※1	2, 170 kg	60, 630 円
H27	3, 218 kg	69, 922 円
H28	5, 203 kg	200, 827 円
H29	7, 408 kg	290, 919 円
H30	3, 777 kg	319, 390 円
R元	3, 370 kg	298, 170 円
R2※2	7, 317 kg	128, 366 円

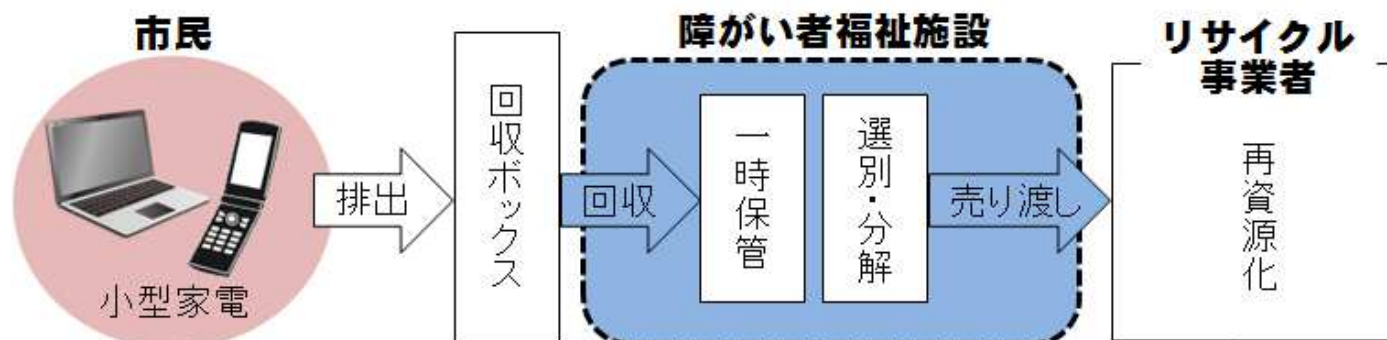
※1 H26年度は実証実験とし6月より開始。

※2 R2年度は9月末までの実績

◆作業風景



◆収集～再資源化までのイメージ



食品ロス削減

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。
農林水産省及び環境省の平成29年度推計では、日本は年間2,550万トンの食品廃棄物等のうち、食品ロスは612万トンとなっています。
これは、国民一人当たりに換算するとお茶碗約1杯分(約132g)の食べ物が毎日捨てられていることとなります。

◆庁内調整会議の開催



- ①食品ロス削減推進法の制定について
 - ②各課※における取り組みについて意見交換
- ※生活環境課、子育て支援課、健康づくり課、学校教育課、社会教育課、商工振興課、農業委員会事務局、地域振興課、社会福祉課

◆これまでの取り組み

- 啓発物品(箸:寄贈品)とチラシの配布
- 食品ロスの削減PRパネルの設置
- 農業まつりでのアンケート実施
- 食育だより、給食だよりで食品ロスに関する記事を掲載
- 広報つばめ特集記事(マンガ「食品ロスの削減」)を掲載
- 食品ロス削減の講話

- ◆食品ロス削減推進法(令和元年5月24日法案可決 5月31日公布 10月1日施行)
- ◆食品ロスの削減に関する基本的な方針(令和2年3月31日閣議決定)

◆今年度の取り組み

まちづくり市民アンケートの結果を踏まえ、「**計画策定の意義**」と「**家庭系食品ロス**」に重点を置きながら、飲食店などの事業者へも削減に向けた情報提供や啓発活動を行う食品ロス削減推進計画を策定予定。

トリクロロエチレンの排出抑制にむけて

【経緯】

環境基準を長期に達成し、水質や大気等の環境を将来にわたり良好に維持していくため、県では環境負荷の低減を図る「トリクロロエチレン排出抑制推進事業」として、平成30年度から有識者等による「新潟県トリクロロエチレン排出抑制検討会」を設置し、県央地域のトリクロロエチレンの排出抑制を促進するための効果的な取組について検討しました。

【取組】

- 排出抑制対策や県央地域事業者の対策例などを取りまとめた「トリクロロエチレン排出抑制に向けた自主的取組ガイドライン」の策定(令和2年3月)
- 排出抑制対策などをまとめた「排出抑制に関するリーフレット」の配布
- トリクロロエチレンを取り巻く現状と排出抑制技術に関する知識の普及を図る「排出抑制セミナー」の定期的開催
- 立入検査等の指導、排出抑制に向けた自主的取り組みの状況の把握
- 大気物質モニタリング調査

- ・令和2年度より「燕市トリクロロエチレン排出抑制検討会」を開催
事務局:燕市商工振興課 燕市生活環境課
委員:業界団体 販売事業所 検査機関
オブザーバー:新潟県県民生活・環境対策部環境対策課 三条地域振興局環境センター

- 令和2年度より「燕市の排出抑制支援制度」を実施(燕市商工振興課)
- 改善事例紹介

クリーンデー燕

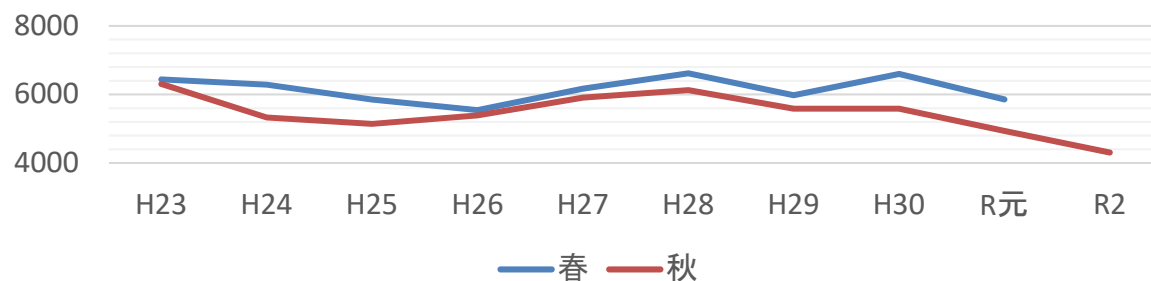
毎年、春と秋の年2回、自治会と事業所等の皆様よりご協力をいただき「クリーンデー燕」と称して市内一斉清掃を行っています。

◆直近の参加状況

	開催日	参加者数	参加自治体数	参加団体数
H30年度春のクリーンデー燕	4/14	6,598人	139	13
H30年度秋のクリーンデー燕	10/6	5,583人	127	15
R元年度春のクリーンデー燕	4/13	5,854人	131	11
R元年度秋のクリーンデー燕	台風の影響により中止			
R2年度春のクリーンデー燕	コロナウイルスの影響により中止			
R2年度秋のクリーンデー燕 (速報値)	10/10	4,307人	112	18



◆年度別参加状況



燕市内における公害防止活動 ①

毎月1回、燕地区の南町排水路の2地点(南公民館脇、少年野球場脇)で水質の測定を行いました。
また、騒音常時監視として、環境騒音・自動車騒音測定を5地点と高速道路騒音測定を6地点で行いました。

◆公害苦情受理及び処理状況

	大 気	水 質	騒 音	振 動	悪 臭	その他	合 計
受理件数	0 件	0 件	3 件	0 件	1 件	0 件	4 件
処理件数	0 件	0 件	3 件	0 件	1 件	0 件	4 件

●苦情内容

・近隣工場からの機械騒音(3件) ・近隣工場からの悪臭(1件)

◆水質検査状況

検査項目	基準値 (PPM)	測定結果
ジクロロメタン	0.02	環境基準 オーバーなし
1,1-ジクロロエチレン	0.10	環境基準 オーバーなし
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	環境基準 オーバーなし
1,1,1-トリクロロエタン	1.00	環境基準 オーバーなし
トリクロロエチレン	0.01	環境基準 オーバーなし
テトラクロロエチレン	0.01	環境基準 オーバーなし

燕市内における公害防止活動 ②

◆騒音調査状況

①環境騒音、自動車騒音測定(5地点)

調査地点	調査月日
殿島一丁目地内	11/26 ~ 11/27
井土巻二丁目地内	11/12 ~ 11/13
白山町一丁目地内	11/21 ~ 11/22
井土巻五丁目地内	12/9 ~ 12/10
吉田下町地内	12/16 ~ 12/17

②高速道路騒音測定(6地点)

調査地点	調査月日	調査地点	調査月日
井土巻地内	9/17 ~ 9/18	八王寺地内	8/1 ~ 8/2
又新地内	9/4 ~ 9/5	三王湊地内	9/12 ~ 9/13
八王寺地内	7/29 ~ 7/30	関崎地内	8/26 ~ 8/27

③測定方法ならびに測定結果

測定回数	年1回、24時間測定	
測定場所	環境騒音3地点、高速騒音6地点	
環境基準	昼	70デシベル(6時~22時)
	夜	65デシベル(22時~6時)
測定結果	全地点において環境基準を超えなかった	



◆騒音・振動調査状況

特定事業場立入実態調査 (燕市公害防止事業協同組合と連携して実施)

調査機関	対象工場	騒音調査数	振動調査数
10月 ~ 12月	24社	19社	19社

合併処理浄化槽転換促進補助事業

人口減少や高齢化などの社会情勢や厳しい財政事情等により、汚水処理施設の整備を取り巻く情勢が大きく変化したことを受け、燕市においても、集合処理区域として下水道整備を実施する区域及び個別処理区域として合併処理浄化槽で整備する区域を明確に分類するとともに、早期の汚水処理施設の概成を目指す「燕市汚水処理施設整備構想」を策定しました。

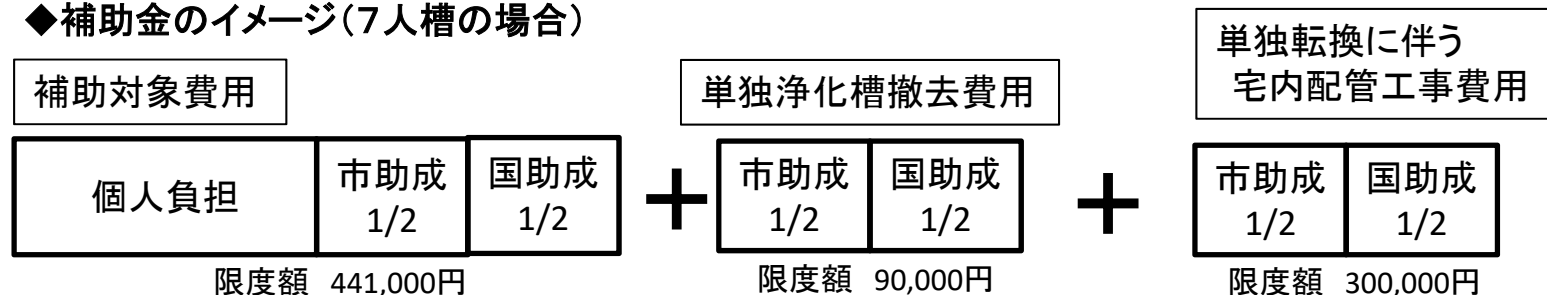
これを受けて、個別処理区域において、単独処理浄化槽や汲み取り式トイレから合併処理浄化槽に早期の転換を促すため、令和元年度から設置工事費等の一部を補助する制度の創設しました。

また、国から、令和元年度予算において、新たに宅内配管工事費も助成する方針が示されたことから、本市としても、国の制度改正に合わせて合併処理浄化槽への転換促進補助制度を創設しました。

◆補助対象者 個別処理区域において、住宅で使用している単独処理浄化槽またはし尿汲み取り便槽を合併処理浄化槽(環境配慮型浄化槽※)に設置換えする方。

※ 消費電力基準、環境性能等の環境省の定める要件を満たす浄化槽

◆補助金のイメージ(7人槽の場合)



◆燕市合併処理浄化槽転換促進補助事業実績

	補助件数	補助金額	
		うち単独入替	うち汲み取り入替
R元	26件	21件	5件
R2	24件	24件	0件
		補助金額	
		19,048,000円	
		19,407,000円	

災害廃棄物処理計画

平成23年3月11日の東日本大震災の経験を踏まえて、今後発生が予測される大規模地震や津波及び水害による被害を抑止・軽減するための災害予防、さらに発生した災害廃棄物や避難所のごみの処理を適正かつ迅速に行うため災害廃棄物処理計画の策定に取り組めます。

◆今年度の取り組み

「関東地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画モデル事業」に参加し、計画を策定するにあたって、国・県や外部機関の指導を受けています。

現在、災害時の仮置場や生活ごみ・避難所ごみの収集運搬及び処理方法等の課題を洗い出しながら、燕市の実情に応じた災害廃棄物処理計画を今年度中に策定予定としています。

【平成28年熊本地震の例】

片付けごみが道路まではみ出しており、交通の障害になっています。



【仮置場の例】

(場所:福岡県朝倉市甘木仮置場:約3,000㎡)

